

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会芦北支部

芦北たまねぎ「サラたまちゃん」の安定生産に向けて ～高温対策の実証～

芦北地域では、温暖な気候を利用したタマネギ栽培が盛んに行われており、JAあしきたサラたまちゃん部会が生産するタマネギは「サラたまちゃん」としてブランド化され、早いもので1月下旬から出荷されています。

一方、芦北地域では、8月下旬から播種を行っており、近年の高温の影響で発芽率が著しく低下するなど、生産量が不安定な状況となっていました。

そこで、令和8年産（令和7年8月下旬～播種）で、遮光ネット利用による高温対策の実証展示ほを設置し、発芽率や生育への影響を調査しました。

その結果、遮光により地温が低下し、発芽率が向上するということがわかりました。さらに、展示ほの調査結果を早急に取りまとめ、管内の生産者に広く情報提供したことでの取組みが地域全体に広がり、生産者それぞれが創意工夫しながら高温対策に取り組みました。

夏期の高温対策は早出し産地の重要な課題です。芦北支部では、今回の実証ほでの調査結果や生産者それぞれの取組みを踏まえ、より効果的な対策を検討・実証し、サラたまちゃんの安定生産に向けて引き続き取り組んでいきます。



タマネギ育苗の様子



高温対策実証ほの様子
(左側：試験区、右側：慣行区)